

# 新型インフルエンザに備えよう！

鳥のインフルエンザがヒトに感染し、さらにヒトからヒトへ感染するように変異して発生するのが「新型インフルエンザ」です。全く新しいウイルスであり、人類はこのウイルスに対する抗体を持っていないために、全世界で爆発的に感染が広がると予測されています。

新型インフルエンザは数十年周期で発生し大流行しており、いずれも多く患者と死者が出ています。島根県の試算では、新型インフルエンザの患者数は、県内で約14万5千人と予測され、医療機関の混乱や、食料供給・電気や水道などのライフラインへの影響が心配されています。

## 過去の新型インフルエンザによる被害

(時期)	(呼び名)	(推定死者数)
1918年	スペインかぜ	4,000万人
1957年	アジアかぜ	200万人
1968年	香港かぜ	100万人

## 今から始める新型インフルエンザ対策

～毎年流行する普通のインフルエンザの予防対策が、新型インフルエンザ対策につながります。～

- 外から帰ったら、石けんで手洗い・うがい  
ウイルスが付着した手で口や鼻をさわると、感染につながります。外から帰ったら、石けんを使って流水で丁寧に洗いましょう。
- 咳エチケット（人にうつさないために）  
・ハンカチやティッシュで口を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。  
・使ったティッシュはフタ付きのゴミ箱へすてましょう。  
・咳やくしゃみがでる時は、必ずマスクをつけましょう。  
(マスクは、使い捨ての不織布製マスクを使いましょう。)
- 外出を控える  
不必要な外出は避けましょう。特に集客施設や人混みへの外出を控えることが感染防止に役立ちます。  
※県内で新型インフルエンザが確認されると、学校等は閉鎖される予定です。
- 流行する前に食料などの備蓄を  
新型インフルエンザの流行時には、必要なものが買えなくなる可能性もあります。なるべく外出しなくてすむように備蓄をしておきましょう。

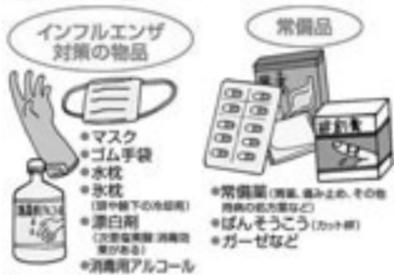


### 家庭での備蓄品の例

#### 食料(長期保存可能なもの)



#### 衛生用品・医療品の例



## ～住みよい町を目指して～

### 下水道への接続について(お願い)

#### ○下水道の重要性

下水道は、美しい自然環境の保全・再生と快適な生活環境を確保するために、重要な役割を果たしています。

奥出雲町では、下水道整備を主要施策の一つとして取り組み、町内のほぼ全地区の集合処理区域（横浜市街地周辺の一部を除く）で水洗化整備が完了しました。



#### ○下水道への接続

本町の下水道への接続率は、約62%と依然低く、今後は公共下水道や農業集落排水への接続率向上が急務な課題となっています。

事業で整備された下水道は、該当地区の受益者の皆様が接続して初めて、事業本来の目的を達成いたしますので、ご理解とご協力をお願いします。

#### ○下水道接続による効果

- ・トイレの水洗化により清潔で快適な生活ができます。＜快適な住環境＞
- ・生活排水をきれいに川や海に流すため、美しい自然が守られます。＜水質保全＞
- ・側溝や水路がきれいになるため、蚊やハエなどの害虫の発生を防ぎます。＜環境保全＞
- ・下水道への接続が向上することで、使用料金の値上げを抑制できます。＜個人負担の軽減＞

町では・・・

昨年11月から個人住宅の増改築工事に併せて、新規に下水道への接続をする方に助成金10万円を交付しています。この機会に是非ご利用ください。

### 市町村設置型合併処理浄化槽の設置申請を受け付けています。

現在、町では合併処理浄化槽（高度処理型）を個人の方に代わり設置しています。その後の維持管理についても、使用者の方と共に町が責任をもって行います。

平成21年度の浄化槽設置申請を随時受け付けていますので、ご希望の方は早めに役場水道課まで申請書を提出して下さい。

<対象区域> 公共下水道・農業集落排水処理区域を除く町内全域のエリア

<対象者> 平成21年度に設置希望の世帯及び集会所・事業所等

<工事分担金> ・一般住宅・集会所等・・・135,000円（1基あたり）

※5～10人槽の合併処理浄化槽

・12人槽以上の共同住宅、事業所・・・設置工事費の10%相当額（1基あたり）

お問合せ先・・・役場水道課

有線20-4284 電話52-2676